

アポロニア21



高齢者対応と新たな連携の形

診療室、訪問、ターミナル

地域密着型医院のデジタル活用
山本貴信

高齢者向けアンチエイジング・プチ体操
宝田恭子

歯科衛生士に必要な「連携力」とは？
島田明子／中塚美智子／寺島雅子

ターミナル診療での多職種連携
馬見塚賢一郎

多職種連携事業での歯科医師活躍の可能性
グレースメディカルグループ

特別企画

感染対策の
エキスパートが選ぶ
7つ道具

内田昌徳



特集

高齢者対応と 新たな連携の形 診療室、訪問、ターミナル

宝田恭子／馬見塚賢一郎／山本貴信／島田明子／中塚美智子／寺島雅子
グレースメディカルグループ

49

特別企画

感染対策のエキスパートが選ぶ7つ道具

内田昌徳 40

GP論

口腔から全身が見える！ 丹毒

廣瀬知二 30

Interview

院長インタビュー 清水英寿(群馬県・清水歯科医院)
他業界からのメッセージ 女装サロン

04

36

リレーエッセイ

あの先生のライフスタイル 伊藤智加(日本歯科医師会 専務理事)

10

経営

- データで分かる！ DHの採用・定着 新卒学生に有効なスカウトメールは？ (株)クオキャリア 16
- DHレッスン Akaneにお任せ！ 体調管理は仕事の要！ 竹之内茜 18
- キレイ！ 効率的！ クリニックの知恵 総集編〈診療室／在庫管理〉 (株)デンタルタイアップ 20
- チラ見せ・動画メディア「歯科ラジオ」 患者経験価値(PX)を高める多職種連携 坂口豊／山本達也 92
- スタッフに教えたい経営の話 コンサルが原因でベテランスタッフが退職!? 濱田真理子 98
- 事務長のマネジメント講座 スタッフ満足度を高めるユニークな「支援制度」 MOCAL(株) 102
- 無理しないお金講座 専従者給与ってどういうもの？ 安田会計事務所 104
- ドクター重田の個別指導・保険Q&A 歯医者とはなぜキャバクラが好き？ ドクター重田 116

エッセイ

- 身体がよるこぶ！ 還元クッキング 秋に現れる夏の疲れに… 大友慶孝 34 BOOK STAND 122
- 健康トラブルの知 P. gingivalisと脳血管性認知症 大森隆史 106 GOODS BOX 126
- DHアーヤの患者さんこんにちは！ HSPの特性は医療人あるある？ 古屋綾子 110 ニュースボード 128
- 世の中いたしたいのお エンドがうまくなりたい！ GP太郎 112 読者の声 140
- 高村くるみ流人生相談室 引越したら出るんです、アレが。ほか 高村くるみ 118 広告掲載一覧 141
- サカモッチィのサムシング 五千円はありがたい！ 坂本光徳 119 バックナンバー 142
- toothsome君が行く！ 歯と神仏の旅 地蔵さま(岩手県) 福田直子 120 編集後記 144
- From Dental Dealer's Opinion ヒトの咀嚼を再現する取り組み 山本恵三 121

院長 Interview

口腔を起点に、 全身の病気の予防を目指す

血液検査やオーソモレキュラーを導入し、「口腔内科医」として全身の健康を視野に入れた診療を行っている清水英寿氏。歯科医療の枠にとらわれない視点で、未病の段階からの予防を目指している。清水氏の健康観とともに、3年前から導入したアニマルセラピーについても伺った。

口腔から全身状態を診る

——歯科医師を目指したきっかけは。

清水 群馬県高崎市は、かつて染物業が盛んな町として知られていて、私の実家も代々染物業を営んでいました。商売は祖父の代までは順調でしたが、父の代になると着物産業が衰退し、従業員の給与の支払いに苦労するほ

ど経営が悪化していきました。家業が傾いていく様子を間近に見ていたので、安定した職として、私と弟は歯科医師、妹は医師の仕事を選びました。

——診療スタイルは。

清水 「生活習慣病のような長い潜伏期間を経て発症する病気は、未病のうちに予防できる」という東洋医学をベースにした考えと、



清水歯科医院
群馬県高崎市

清水英寿 氏 Shimizu Eiju

1961年生まれ。新潟大学歯学部卒。88年開業。金沢大学講師。日本歯科東洋医学会理事。群馬県昆虫学会会員。(株)清水捺染専務取締役。

スタッフ：歯科医師1人
歯科衛生士5人
歯科助手1人
受付2人

ユニット：7台
駐車場：15台分

あの先生の ライフスタイル

一問一答

■ 日本歯科医師会 専務理事

所属：日本大学歯学部 歯科補綴学第1講座

所属学会：日本補綴歯科学会専門医・指導医、日本老年歯科医学会認定医・専門医・指導医・代議員、日本咀嚼学会、日本歯科医学教育学会

専門分野：歯科補綴学、顎関節症科、いびき対応科（睡眠時無呼吸症候群）

生年：1963年

出身地：東京都

出身校：日本大学歯学部



第
141
回

伊藤智加

Ito Tomoka
先生

生活スタイル

平均睡眠時間は？

4時間程度。会務や大学での仕事が終わると帰宅するのが遅くなり、そこからのんびりしてしまうと、あっという間に寝る時間がなくなってしまう。

一日の中で好きな時間は？

家に帰って、犬と一緒にいる時間が一番好き。

欠かさない日課や習慣は？

朝のシャワーはどんなことがあっても欠かさない。

感染ゼロを目指す歯科診療

感染対策の エキスパートが選ぶ 7つ道具

COVID-19のパンデミックは、すでに過去のことに思われがちですが、さらなる未知のウイルスに対する飛沫およびエアロゾル感染に対して、感染防御体制を整える必要があります。唾液や血液といった汚染物も多く、感染リスクの高い歯科医療現場の特性を勘案した、当院で使用している感染対策製品をご紹介します。



●文：

内田昌徳氏
Uchida Yoshinori
山口県・
医療法人鶴翔会
内田歯科医院

内田歯科医院の消毒・滅菌室。消毒・滅菌作業が確実に行えるよう、汚染域・清潔域の分けや工程に沿った器材の配置を徹底。

特集

高齢者の心身機能低下への配慮、多職種連携への対応力が、あらゆる医療従事者に求められています。外来診療、訪問診療、歯科衛生士育成の現場から、最新のノウハウと激変する「業界事情」を取材しました。

高齢者対応と 新たな連携の形 診療室、訪問、ターミナル

訪問・外来をシームレスにつなぐ

地域密着型歯科医院のデジタル活用

話し手：山本貴信(京都府・医療法人社団理祥会 やまもとファミリー歯科医院 理事長)

医院でもできる！ 高齢者向けアンチエイジング・プチ体操

取材協力：宝田恭子(東京都・宝田歯科医院 院長)

必要なのは「成果を求めない歯科治療」

ターミナル訪問診療での多職種連携

話し手：馬見塚賢一郎(東京都・医療法人社団成扶会 馬見塚デンタルクリニック 院長)

医科訪問 歯科訪問 訪問看護・居宅サービス

多職種連携事業の課題—「人材確保」がカギ！

話し手：梅田幸彦(グレースメディカルグループ 代表)

伊東 亮(グレースメディカルグループ 訪問診療部 部長、事務長)

大阪歯科大学医療保健学部発 歯科衛生士に必要な「連携力」とは？

話し手：島田明子(大阪歯科大学医療保健学部 教授、口腔保健学科長)

中塚美智子(大阪歯科大学医療保健学部 教授、医療保健学部キャリアセンター長)

寺島雅子(大阪歯科大学医療保健学部 助教、歯科衛生士)

デジタル活用 地域密着型歯科医院の

訪問・外来をシームレスにつなぐ



黒のタブレットは院内専用で、『TrinityCore3』の端末としてレントゲン画像や口腔内写真などを映し出して、診断と患者説明に使用。オレンジのタブレットは『Dental eNote』の端末として、訪問・外来で使用し、診療内容の確認や次回予定などの記録を行う。外来では2種類のタブレットを同時に使う。

この記事のポイント

「私たちは歯科だから…」は通用しない

「紙の重さ」は訪問診療の隠れたネックに

メインとサブの情報ネットワークを活用



●話し手：

山本貴信 氏

Yamamoto Takanobu

京都府・医療法人社団理祥会

やまもとファミリー歯科医院

理事長

●取材・文：編集部

医院でもできる！

高齢者向け アンチエイジング・ プチ体操



宝田歯科医院に通院する最高齢の患者さんは、何と98歳！ 元気な高齢者に共通するのは「面倒臭がらず、まめに動く」ことだろう。

この記事のポイント

「雑談の時間が取れる」のが歯科の特長

身体の不具合を解消し、底上げするお手伝い

医療者の知見、患者さんの経験を共有

●取材協力：

宝田恭子氏
Takarada Kyoko
東京都・
宝田歯科医院 院長

●取材・文：編集部



必要なのは「成果を求めない歯科治療」

ターミナル訪問診療での 多職種連携



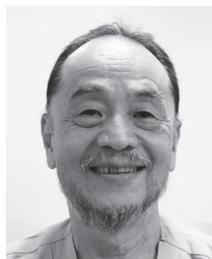
大型オフィスビルの1階にある馬見塚デンタルクリニック。聖路加国際病院との連携で、ストレッチャーに乗った患者さんを診ることもしばしば。

この記事のポイント

「歯科治療で〇〇を改善！」という診療はほとんど求められない

ターミナルケアに必要なのは
歯科衛生士の口腔管理

がんターミナルは「待ったなし」



●話し手：

馬見塚賢一郎 氏

Mamizuka Kenichiro

東京都・医療法人社団成扶会
馬見塚デンタルクリニック
院長

●取材・文：編集部

多職種連携事業の 課題 — 「人材確保」がカギ！

グレースメディカル グループ

首都圏最大の高齢者医療に特化した医療グループ。“Be with Customer”をモットーに、歯科、医科、訪問看護、居宅介護支援を展開。

この記事のポイント

「ワンストップで困り事を相談できる」
ことが大きな価値に

「デンタル・メディカル」として
医師を雇用

利用者のニーズから
全国でのビジネスパートナー展開へ



●話し手：

梅田幸彦氏

Umeda Yukihiko

グレースメディカルグループ
代表



●話し手：

伊東亮氏

Ito Ryo

同訪問診療部 部長
事務長

●取材・文：編集部

歯科衛生士に必要な 「連携力」とは？



この記事のポイント

病院勤務の歯科衛生士への
ニーズが拡大

関わる専門職への
理解・配慮が重要

現役の歯科衛生士にこそ
リカレント教育を



●話し手：

島田明子氏

Shimada Akiko

大阪歯科大学
医療保健学部教授
口腔保健学科長
歯科衛生士研修センター長
歯科医師



●話し手：

中塚美智子氏

Nakatsuka Michiko

大阪歯科大学
医療保健学部教授
医療保健学部
キャリアセンター長
歯科医師



●話し手：

寺島雅子氏

Terashima Masako

大阪歯科大学
医療保健学部助教
歯科衛生士

次号予告

特集

AI時代の 「ツール」「人」

- 対談：AI時代の院内コミュニケーション
- デジタル時代のトラブルQ&A
- トレーラーとDXで「どこでも歯科診療」
- 医院6軒、保育所3軒—成長を支えるデジタル基盤

レポート

企業のノベルティーや贈答が激減する？ 東海林肇
ブルーラジカルによる歯周治療の可能性 帆足公人

あの先生のライフスタイル

小谷泰子 (大阪府・平成歯科クリニック 院長)

編集後記 先の参議院選挙で、「日本も排外主義に？」と懸念される論調の政党の躍進が見られました。これは単なる外国人排斥とは異なり、産業構造の変化を背景にした世界的な潮流といえそうです。

人々の多くが工場や農場で肉体労働をする社会であれば、実のところ、どんな背景を持った人であってもそれほど違いはなく、皆が仲良く暮らす「文化の多様性」が理想のように語られてきました。しかし、今世紀になると、外国人の多くがコンビニや飲食店などのサービス業に従事するように。その国の言葉話し、周囲の社会に溶け込めるかどうか重視されるようになりました。

それに伴い、富裕な福祉国家のモデルであるオランダや、過去の歴史的背景から移民や難民に寛容だったドイツなども含め、自国文化の尊重を外国人コミュニティにも強制するようになりました。それができなければ「市民」として行政サービスを受ける権利も制

限すべきとしたことが、外国人との不和につながったとされます。

ただし、社会の発展に多様性が重要なのは、昔からの真理のようです。20世紀初頭のドイツの経済学者、ヴェルナー・ゾンバルトは、「資本主義を発展させたのは、社会の異端者やよそ者」と指摘しています。もっと以前、中国・大唐帝国の圧倒的な強さは、周辺蛮族の文化や人材を積極的に活用する「吞吐力」によるものだと言われています。

社会の多様性が国力や経済成長を後押しした一方、それが利益配分をめぐる対立につながるの避けがたいのかもしれない。すでに外国人は地域社会に根付いており、高齢になって認知症で日本語を忘れるという「母語返り」への対応に悩む介護現場も出てきています。

今回の特集は、高齢社会での多職種連携を扱いました。今後、日本社会が変質していく可能性も含め、今後の方向性を見据えていければ、と考えております。(水谷惟紗久)

アポロニア²¹

10月号

2025年10月1日発行
通巻382号

●発行人

水野純治

●編集長

水谷惟紗久

●発行

(株)日本歯科新聞社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-15-2

[TEL] 03-3234-2475

[FAX] 03-3234-2477

http://www.dentalnews.co.jp

apolonia@dentalnews.co.jp

●印刷

三報社印刷(株)

※落丁、乱丁はお取り換えします。
掲載記事の無断転載を禁じます。

●月刊『アポロニア21』の定価は、1冊2,420円(本体2,200円+10%税)です。ご購入は年間29,040円の前納制にてお願い致します(税・送料込)。当社ホームページのお申し込みフォーム、FAX、Eメール、またはお出入りの歯科商店でお申し込みください。

●取材のお申し込み

当社ホームページのトップページにある「取材の依頼・情報提供はこちら」というボタンから、「取材依頼・記事掲載 応募フォーム」にご記入ください。

●広告のお問い合わせ・お申し込み

(株)マーケティング・

インターナショナル

〒160-0011

東京都新宿区若葉1-10

TEL : 03-3357-7707

FAX : 03-3357-7751

Webでもさまざまな
情報を発信中!



- X
- Facebook ファンページ
- YouTube チャンネル
- note
- Instagram